



2026年3月4日

各 位

会 社 名 カナデビア株式会社  
 代 表 者 名 取締役社長兼 CEO 桑原 道  
 (コード：7004 東証プライム)  
 問 合 せ 先 執行役員 経営企画部長 河崎 透  
 TEL 06-6569-0005

## 全固体電池事業の譲渡に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年7月1日に当社の全固体電池事業をスズキ株式会社（以下、「スズキ」といいます。）に譲渡（以下、「本事業譲渡」といいます。）することを決議し、スズキと事業譲渡契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 事業譲渡の理由

当社は、2006年より全固体電池の開発に取り組んでまいりました。当社製全固体電池「AS-LiB®」は、独自に開発した乾式製法により、液漏れのない高い安全性、優れた耐環境性、広い温度域での動作を実現し、宇宙や高温・真空状態といった特殊環境向け用途に強みを有しています。

2022年3月には、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下、「JAXA」といいます。）との共同実証研究において、国際宇宙ステーション（ISS）を構成する「きぼう」日本実験棟の船外に、AS-LiB®（140mAh タイプ）を基にした全固体電池軌道上実証装置を設置し、世界で初めて宇宙曝露空間での充放電動作の確認に成功しました。2024年には、JAXA より「宇宙飛行証明書（Certificate of Space Flight）」を受領しております。

さらに、2023年には、半導体製造装置向け用途で商業ベースの受注を獲得し、1,000mAh タイプの開発と並行して、全固体電池事業の本格展開を進めてまいりました。

一方、近年は全固体電池分野における開発競争が一段と激化しており、AS-LiB®のさらなる性能向上、量産体制の構築、販売強化を迅速に進める必要が高まっております。当社では多様なパートナーシップの可能性を検討してまいりましたが、EVを代表とする電動モビリティおよびリチウムイオン電池の開発をしているスズキに事業を引き継ぐことが、当社の全固体電池技術をより一層発展させ、産業界の成長に寄与すると判断し、本事業譲渡を決定しました。

## 2. 事業譲渡の概要

譲渡事業の内容：全固体電池事業（全固体電池の技術開発、設計、販売など）

（注1）譲渡事業の経営成績については、守秘義務により非開示といたします。

（注2）譲渡事業の資産、負債については、当該事業単独の算定が難しいため非開示といたします。

（注3）譲渡価額については、守秘義務により非開示といたします。なお、決済方法は現金です。

## 3. 相手先の概要

(1) 名 称	スズキ株式会社
(2) 所 在 地	静岡県浜松市中央区高塚町300番地
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 鈴木 俊宏
(4) 事 業 内 容	四輪車・二輪車・船外機・電動車いす等の製造・販売等
(5) 資 本 金	138,370百万円
(6) 設 立 年 月 日	1920年3月15日
(7) 純 資 産	3,407,147百万円 (2025年3月31日現在)
(8) 総 資 産	5,585,683百万円 (2025年3月31日現在)

(9) 大株主および持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）		16.26%
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）		7.20%
	トヨタ自動車株式会社		4.98%
	ジェーピー モルガン チェース バンク 385632		4.30%
	(2025年9月30日現在)		
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

(注) 持株比率は自己株式を控除した発行済株式総数に対する割合です。

#### 4. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年3月4日
(2) 契約締結日	2026年3月4日
(3) 事業譲渡期日	2026年7月1日

#### 5. 業績へ与える影響

本事業譲渡により、2027年3月期第2四半期の個別決算および連結決算において、それぞれ事業譲渡益約74億円を特別利益として計上する見込みです。

以上